

一元的な森林情報を見える化で林業活性化

- 国有林、道有林、民有林の森林配置、資源量、路網等の森林情報を一元的に集約して見える化。
- 地域林業の課題を明らかにし、解決のために必要な手段、方法を検討。
- 実行管理推進チーム会議等を活用して、勉強会、検討会、地域林業の実態把握等を行う。

地域の現状

実態

- ・民国それぞれで森林施業
- ・連携した対応が少ない（国と道）

課題

- ・地域林業の課題を明確化
- ・民国連携のさらなる強化
- ・森林施業に求められる技術の普及。



具体的取組に向けて

- ・道担当者とGIS等活用に向けデータ移行、使用方法について詳細協議する。
- ・民国の作業現場を視察、確認
- ・「民国森林施業技術交流会」へ指導林家、青年林業士への参加要請
- ・実行管理推進チーム会議活用にあたり、今後も主体的な参加による意思統一と連携強化（国と道）

26年度実施済み事項

- ・道担当者とGIS等活用に向けQGISをインストールしデータも共有済み。
- ・国有林の作業現場を視察、意見交換を実施（西部森林室遠軽事務所）。
- ・第2回実行管理推進チーム会議参加にあたり道担当者と事前打ち合わせを行い情報提供。



今後の構想

GISシステムの整備。

実行管理推進チームで地域の問題点を共有するためGISシステムを活用して具体的課題の掘り起こし。